

留学生、お茶屋遊び体験

日本文化講座 芸舞妓と交流

立命大笠
キャンパス

11.6.30 京都
22(地域)



お茶屋遊びの「とらとら」を芸舞妓と楽しむ
留学生(京都市北区・立命館大)

同大学の5週間の短期語学プログラムの一環で、大講義室で開かれた講座にはアメリカやカナダ、韓国など5カ国から来た16人が参加した。
まず祇園東の芸舞妓2人が三味線に合わせて京舞を披露した。京

短期留学生に日本文化を学んでもらう講座が29日、京都市北区の立命館大笠キャンパスで開かれた。舞妓と芸妓が京舞を披露したり、お茶屋での遊びを体験するなどして交流した。

舞の由来や、芸妓と舞妓の違いなどを解説したあと、留学生から「なぜ舞妓になったのか」「化粧と着付けにどれくらい時間がかかるのか」「休みの日は何をしている」「給料はいくらぐらい」「結婚したらどうなる」など次々と質問があり、2人は「踊りとお着物が好きだったから」「休日は髪を下ろしてシヨッピング」などと答えていた。
続いて、留学生らは、伝統的なお茶屋遊び「金比羅船々」「とらとら」を体験。英語でやり方を教えてもらってすぐに覚え、芸舞妓と一緒に、三味線に合わせてながら、楽しそうに遊んでいた。

(藤松奈美)